令和５年度

地区防災計画

治田学区

1 防災体制（災害避難所開設準備及び運営）

組織名称	治田学区			
組織の体制	役員			
	役職	氏名	役割	電話番号 メールアドレス
	支部長	[redacted]		
	副支部長	[redacted]		
	副支部長	[redacted]		
	運営委員	[redacted]		
	各自治会より	4人選出	40人から	リーダー1名選出
	役割配置		各自リーダーの	指示に従う
	受付、伝言板	3人	避難所内案内	13人
	搬入品受入る	2人	侵入禁止張り紙	1人
	排便処理	10人	他の施設手配	2人
	運動場・駐車	4人	通りすがり避難者対応	1人
	備蓄品配布	4人	ボランテイア受入対応	本部対応
専門部門	施設名	管理者	電話番号	
	炊き出し担当	キャロット	健康推進員（治田学区奉仕団体）	
	医療関係	きずき医院	岡195−1	553−8051
		任医院	川辺615	552−5500
		スミタ二接骨院	坊袋160−1	552−3822
体育館	治田小学校　校内及び体育館配置図			
緊急時連絡先	連絡先		電話番号	
	治田小学校		552−0049	F552−8492
	治田保育園		552−1079	F551−0418
	治田幼稚園		552−2756	F551−0489
	治田児童館		551−1431	F551−1431
	危機管理センター		551−0109	F518−9833
			メールアドレス	kikikanri
	コミセン治田		554−0050	F553−5698
	防災士会長	[redacted]		
	防災士副会長	[redacted]		
特記事項	防災士副会長	[redacted]		
	市民体育館		553−4321	F553−4379

２ 防災マップ

治田学区内の単位自治会で地域防災活動を目的とした自主防災隊の組織を構成して永年活動を行われています。

各々の隊には、会則・規約を制定されています。

平常時に置ける　地域内の安全点検・防災知識の普及と啓発。防災訓練。

災害時の置ける　初期消火訓練・救出と救助活動訓練。情報伝達の方法。

一次避難所集合の申し合わせと安否確認。

高齢者や災害時要援護者の支援体制等の対応。

栗東市防災士会治田支部は、単位自治会構成の自主防災隊・消防隊の規約及び活動を重要視致します。

この度、「地区防災計画」作成に当たり、各自治会内白紙住宅地図を基に住居の内容を集計いたしました。地震による家屋崩壊の心配の家屋、浸水による被害の心配を避難生活の対応でした。（垂直避難を行う）

治田学区支部の活動は、災害に避難所開設の準備と運営が主体に行う事が大事と決定致しました。

１０月１日　避難所運営の模擬訓練「ＨＵＧ」を行いました。

５グループを構成して、模擬訓練を基に「避難所運営」を話し合いました。

反省や意見を纏めて「地区防災計画」のマニュアルを作成致しました。

㊟単位自治会単独での避難所独自開設の場合の運営は自治会独自で運営を行う。

防災マニュアル

今までに避難所生活や運営の経験者がおられません、そこで
１０月１日　避難所運営模擬訓練『ＨＵＧ』を行いました。
ＨＵＧ参加者３０人治田学区自治会長・防災士・防災役員が受講頂きました。
ゲームでは仮想施設で行いましたが治田小学校を想定意識致しました。
治田地区防災活動の主体は、災害時避難所運営が第一としてマニュアルを作成致します。事前に治田小学校及び付近市施設を考慮した配置図を作成の必要を感じました。コミセン治田・治田保育園・治田幼稚園・治田児童館・治田幼稚園・市民体育館・聾話学校も必要に応じて避難所に活用する。

① ・申し合わせ事項
・各自治会単位防災隊で一旦自治会指定の一次避難所に集合を行う。
・単位自治会防災隊で人命第一の救出や消火活動を行う。

② ・避難者の誘導
・住民の安否を確認して避難生活を希望の方に常用薬・非常持出袋・メガネ入れ歯等日常品・用便処理準備品持参（可燃ごみ袋・新聞紙・便凝固剤等）
・自宅から離れる前に手動でブレーカを落とす。
・履物に注意（長靴は駄目でスニーカー等の着用）
・認知症の方は、自治会か家族の同伴が必要です。
・ペット類の持ち込みは、持ち込み者が責任ある扱いを行う事。

③・避難所の開設
☆地震等で強大な被害は発生して避難所の開設を行う。
各自治会単位で、４人を避難所担当役員としての任命する。　　計４０人
他に、医療関係従事者　　３人程
食糧関係者（キャロット・健康推進員）７人程
主体避難所　治田小学校体育館に集合する。集合者の中から役割を決める。
１）　リーダー（防災士）を決めてる。　リーダーは各担当者を指名する。
２）　受付場所の設定する。治田小学校正門玄関付近簡易テントを建てる。
３）　体育館避難者受け入れ準備　　全員で体育館マットを敷く
・受付設置　机・椅子　　２人
・伝言板の設置　　安否確認の情報報告の可否の確認　　１人
・通路決定　　体育館中央に通路をつくる。
片面、４区画で左右８区画の区割りを行う。
・集落別に避難者の落ち着く場所を決める
【上鈎】　【川辺・川辺住宅】　【坊袋】　【目川・目川住宅】
【岡】　【新屋敷・小柿四区・旭町】　【その他の地域】【物置】
・親を亡くなられたり、親が来らない子どもの面倒は地域の人で行う。

・受付係
・避難案内者　各自治会単位で１人担当　１０人。
　　地域住民以外　３人
・搬入品受け入れ　２人
・侵入禁止場所の張り紙　１人
・要排便の準備
（新聞紙・可燃ごみ袋で代用する・凝固剤＝避難者持参））　１０人
　尿排水は、排水マンホールや側溝にテント等を建て準備？
・体育館や他の施設使用確認手配交渉　２人
・運動場・駐車場の采配　４人
　特別授業教室の活用の有無・テントで避難者の対応
・特殊避難者対応（原則ペット類の避難所持ち込みは禁止です）
　ペットを連れた避難者対応（持ち込み者の自己責任で行う）
　犬の扱い（屋外放置となります。）
　小動物の扱い。盲導犬の扱い（糞尿処理剤を持参）
・幼児を連れた避難者の対応
・高齢者・病人の対応
・車椅子使用の避難者の対応
・酸素ボンベイ等使用者の対応
・他国人避難者の対応
・旅行団体等通りすがりの避難者（付近施設の考慮）　１人
・市備蓄品倉庫からの配布担当　毛布・備蓄食品　４人

専門部門

・炊き出し担当（コミセン治田炊事場）キャロット・健康推進員　７人
・医療経験者　３人
　避難者の健康状態の世話。教室の使用判断。

☆自主避難所（避難希望者は危機管理課　☎551-０１０９に連絡９時～１７時）
・風水害・土砂災害・河川情報で重大災害のおそれ（夜間移動は危険）
　平成２５年９月１６日の台風１８号のおりは１６２人の避難者を受け入れた。市職員１０名とコミセン治田で短期間対応された。
・レベル３（高齢者等避難指示）が発令された時の対応
・Ｊアラート（全国瞬時警報システム）市役所の担当者が開設を行う。
　地域自治会役員や自主防災隊役員・家族が送迎を行う。

㊟　防災マニアルは毎年５月自治会からの推薦役員の確認を行う
推薦役員４名で組織構成を行う。役員＋１０単位自治会＝４０名
年一度避難所訓練を行いマニュアルの見直しを行い訂正や追加項目を定める。

３ 防災資機材　　自治会名　【上鉤自治会】

【令和５年度】

区分	物　資　名	数　量	備　考
避難	非常用懐中電灯	５	
	投光器	３	
	発電機	１	
	担架毛布	３	
	物干し竿（担架用）	６	
	担架	２	
	毛布	１０	
	物干し竿		
救出	スコップ	２	
	非常用具セット	１	
	リヤカー	１	
情報	ハンドスピーカー	４	
水坊	消火栓セット	１	
	葉山川越流壁用治具	１	
	葉山川越流壁用パトライト付三角コーン	２	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

3 防災資機材　　自治会名　【川辺自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
避難	発電機　９００ＶＡ	１	
	ハロゲン投光器	１	三脚付き
	投光器	２	
	延長コード　30m	２	
	折りたたみリヤカー	１	
救出	救助器具１１種目	１	
	ツルハシ	２	両ツルハシ３ｋｇ
	スコップ	１０	
	かけや　　150mm	２	
	ロープ　9㎜×20m	１０	
救護	担架	３	スチール折りたたみ式
	救急箱　５人用	１０	
	ヘルメット	５０	
消火	バケツ	２０	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

３ 防災資機材　　自治会名　【川辺住宅自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救護	レスキュー救急セット	1	
	救急箱	2	
	血圧計	1	
	体温計	1	
救出	角スコップ	6	
	ハンマー	1	
	クリッパー	1箱	
	ジャッキー	1	
	担架　折りたたみ式	3	
	台車	3	
	一輪車	3	
消火	消火器	3	
	金属バケツ	2	
	ポリバケツ	3	
情報	サイレン付きメガホン	1	ハンド用
	ヘルメット	10	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

3 防災資機材　　自治会名　【坊袋自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救出	スコップ	1	
	ジャッキー	1	
	ペンチ	1	
	ハンマー	1	
	ロープ	2	
	レスキューアッキス	1	
避難	投光器	1	
	発電機	1	
消火	消火器	１６	
	バケツ	２０	
	軽可搬式消火ポンプ	１	
情報	ハンドマイク	1	
その他	リヤカー	1	
	簡易格納庫	1	
	ロケットストーブ	1	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

３ 防災資機材　　自治会名　【目川自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救出	バール	４	
	チェンソー	２	
	のこぎり	８	
	スコップ	１０	
	なた	２	
	ペンチ	４	
	ハンマー	４	
	ロープ	４	
	斧		
	一輪車	２	ノーパンク
	リヤカー	１	ノーパンク
	発電機	２	
消火	消火器	３	
	バケツ	１０	
	可搬式動力ポンプ	１	
	防火衣	１０	
	燃料携行缶	２	
水防	シャベル	１０	
	ツルハシ	４	
	杭	３０	
	かけや	４	
	土嚢袋	１００	及び土砂
情報	ハンドマイク	１	
	携帯ラジオ	１	
その他	ブルーシート	１０	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

3 防災資機材　　自治会名　【目川住宅自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救出	チェーンソー	1	
	救出セット	1	
救護	アルミ折りたたみ担架	2	
避難	警笛	2	
	ヘルメット	15	
	ランタン	2	
消火	バケツ	10	
情報	ハンドルメガホン	3	
水防	シャベル	2	
	ツルハシ	2	
	スコップ	2	
	ロープ	2	
【目川自治会】	追加ページ		
給食・給水	炊飯器	2	
	食器	1	一式
	担架	6	
	救急セット	4	
	テント	4	
	シート	4	
	投光器・ライト	2	各2

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

３ 防災資機材　　自治会名　【岡治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救出	バール	６	
	のこぎり	８	
	ジャッキー	３	
	ハンマー	１	
	チェーンソ	１	
	ナタ	１	
	梯子		
消火	消火器	２	
	軽可搬式ポンプ	１	
	バケツ		
救護	救急箱	１	
	毛布	１	
	テント	５	
	呉座	多数	
避難	投光器	３	
	発電機	１	
	延長コード	５	
	燃料携行カン	１	
水防	スコップ	１９	
	ツルハシ	１	
	かけや	２	
給食・給水	まきコンロ・コンロ	３	
	給水タンク２０Ｌ	１	
その他	リヤカー	１	
	ハンドマイク		

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

３ 防災資機材　　自治会名　【新屋敷自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救出	バール	1	
	梯子（はしご）	5	
	のこぎり	5	
	チェーンソー	1	
	なた	2	
	ジャッキー	1	
救護	担架	1	
	テント	5	
	シート	3	
避難	投光器	1	
情報伝達	警笛	5	
	ハンドマイク	1	
	拡声器	2	
消火	消火器	12	
	バケツ	10	
	防火栓	8	
水防	スコップ	6	
	シャベル	10	
	ツルハシ	1	
給水・給食	給水タンク		
	鍋（大）	2	
	コンロ		
	ロケットストーブ	1	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材
避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

３ 防災資機材　　自治会名　【旭町自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救出	ハンマー・シャベル	各1	
	ジャッキー・	1	
	油圧ジャッキー	1	
	ワイヤーカッター	1	
消火	軽可搬式ポンプ	1	
	防火バケツ	１２	バケツリレー用
水坊用	土嚢	4	
救護	担架	3	
	救急箱	1	
	発電機	2	
	延長コード	4	
	燃料携行缶	3	
	投光器	2	
	車椅子	2	
給水	組み立て式水槽	1	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

３ 防災資機材　　自治会名　【小柿四区自治会】

【令和５年度】

区　分	物　資　名	数　量	備　考
救出	レスキューハンマー	１	
	バール	３	
	エンジンチェーンソー	１	
	ジャッキー	２	
	梯子（はしご）	１	
	かけや	２	
	のこぎり	１	
	２灯式投光器	２	
	ロープ（１０m）	１	
	柱切れ端	数切れ	ジャッキー補助
	三角巾	３０	
消火	軽可搬式小型ポンプ	１	
	防火バケツ	５０	バケツリレー用
救護	布担架	１	
	テント	５	
	テント固定杭	２０	
	折りたたみリヤカー	１	
避難	毛布	１０	
	ハンドマイク	５	
	携帯ラジオ	１	
	発電機	１	
	防雨シート	１０	

【記入要領】

・情報収集用資機材、初期消火用資機材、水防用資機材、救出・救護用資機材避難誘導用資機材、給食・給水用資機材、その他訓練・啓発用資機材を記入してください。

防　災　倉　庫　備　蓄　一　覧

令和5年4月1日現在

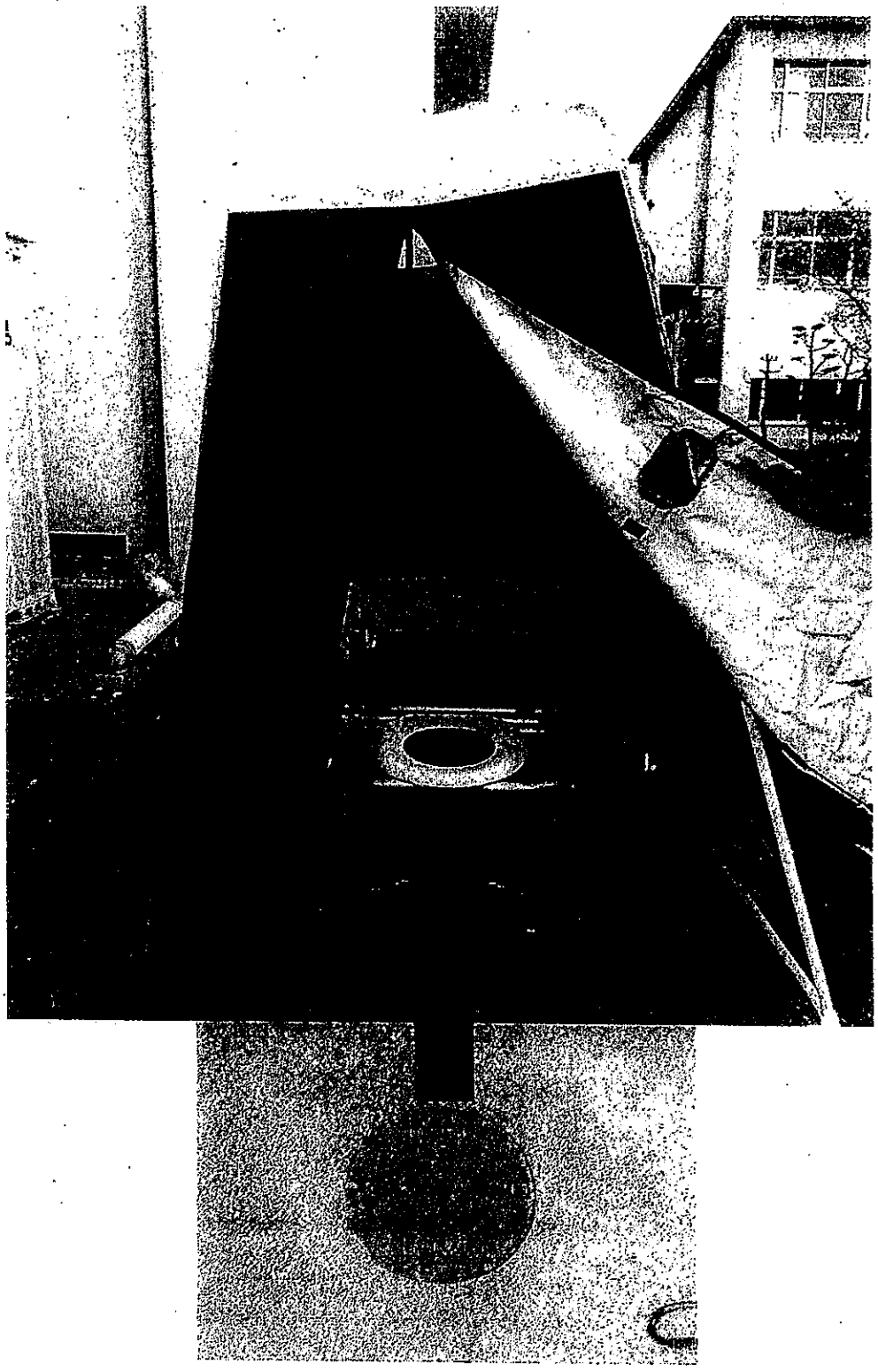
	資　機　材　名	単位	治　田
生活必需品	備蓄毛布	枚	470
	簡易トイレ	台	1
	マンホールトイレ	台	1
	携帯トイレ	枚	100
	ダンボールトイレ	台	5
	アルマイト碗	枚	720
	アルマイトⅢ	枚	400
	非常用飲料水袋　6ℓ	袋	300
	ブルーシート（5.4m×5.4m）	枚	70
	生理用品　1箱（20ﾊﾟｯｸ（1P48枚））	箱	
	生理用品　1箱（30ﾊﾟｯｸ（1P48枚））	箱	1
機械器具	ノーパンクリアカー	台	1
	折畳み担架	台	1
	ろ水機	台	1
	車椅子	台	1
	ヤマハ発電機	基	1
	ホンダ発電機	基	
	延長コード	台	1
	ハロゲン投光機	基	1
	チェンソー	台	1
	災害用救助セット	箱	2
	バルーン投光機	台	
その他	ガソリン（混合）　　1巻（1ℓ）	缶	1
	消毒剤	箱	1
	屋内用テント	張	16
	災害時用マンホールトイレ一式（5基：台1、小4）	式	1
	災害用簡易井戸（手こぎタイプ）	基	1
	簡易トイレ（総務省提供品）		
合　計			2,098

※鍵は、危機管理課、コミセン、小学校にあります。

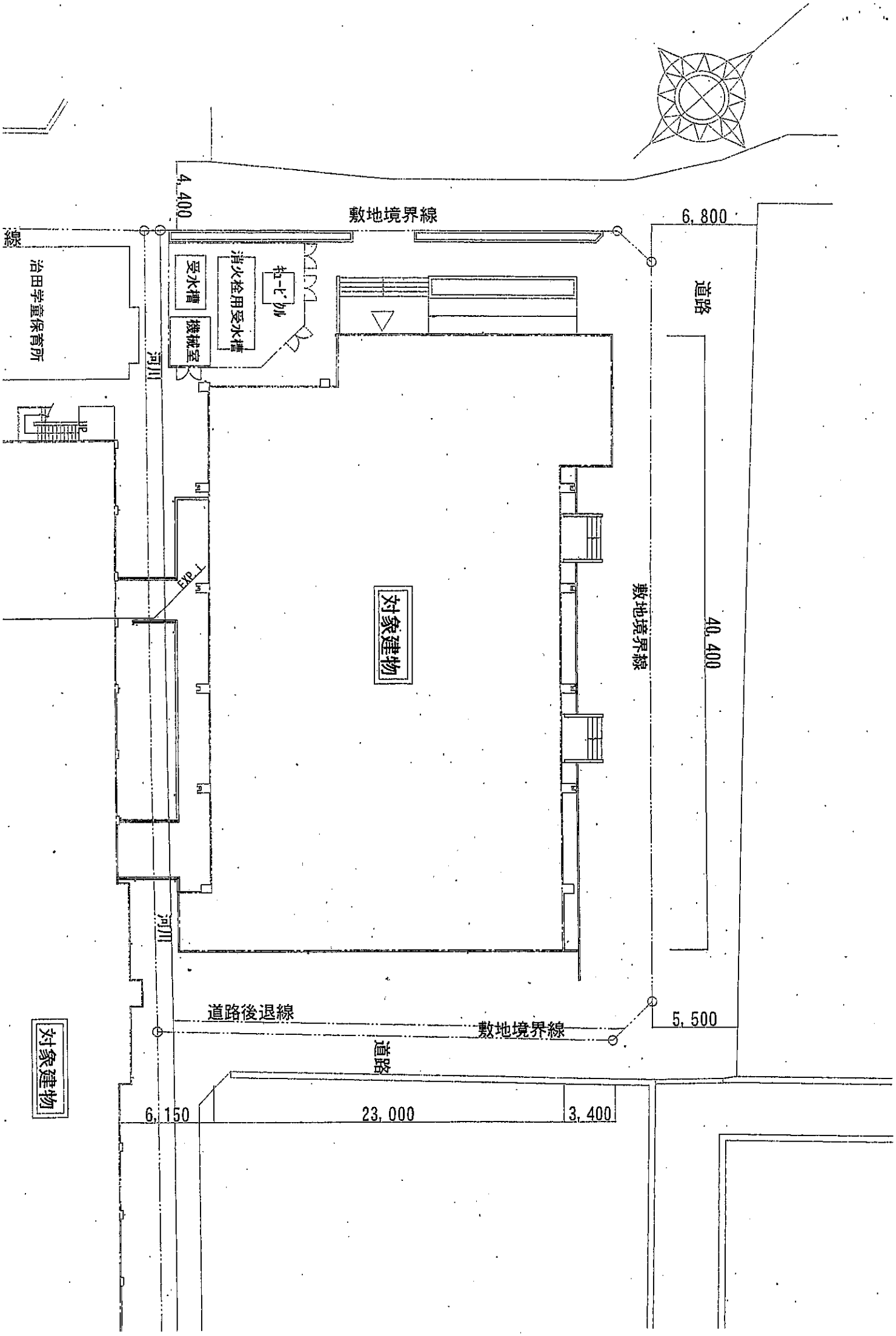
治田

倉庫名 / 食糧名（期限）	治田 個数	治田 食数	治田 期限
マジックライス（五目ご飯）　100ｇ（2024/06）	200	200	24.06
マジックライス（わかめご飯）　100ｇ（2024/5）	100	100	24.05
アルファ米（五目ご飯）　100ｇ（2025/1）	200	200	25.1
アルファ米（五目ご飯）　100ｇ（2025/ ）	100	100	25
アルファ米（五目ご飯）　100ｇ（2028/ ）	650	650	28
アルファ米 計		1,250	
クラッカー　L缶（13枚×8パック）　（2024/03）	150	1,200	24.03
クラッカー　L缶（13枚×8パック）　（2024/9）	54	432	24.9
クラッカー　L缶（13枚×8パック）　（2025/　）	78	624	
クラッカー 計		2,256	
パンの缶詰（キャラメル）　（2024/06）	120	120	24.06
パンの缶詰（チョコチップ）　（2025/2）	168	168	25.2
パンの缶詰（チョコチップ）　（2025/ ）	192	192	
パンの缶詰 計		480	
おろしりんご　缶詰（缶）200g　（2025/ ）	96	96	
おろしりんご　缶詰（缶）200g　（2026/ ）	96	96	
		192	
保存水 1.5ℓ ペットボトル（本）　（2025/02）	40		25.02
保存水 1.5ℓ ペットボトル（本）　（2026/03）	40		26.03
保存水 1.5ℓ ペットボトル（本）　（2028/2）	48		28.02
保存水 1.5ℓ ペットボトル（2029.8）	56		29.8
保存水 1.5ℓ ペットボトル（本）　（2029/1）	48		29.1
保存水 1.5ℓ ペットボトル（本）　（2030/ ）	272		
保存水 2ℓ ペットボトル（本）　（2032/ ）	258		
保存水 計	762		

災害用マンホールトイレ



令和5年11月12日開催の治田学区「ふれあい広場」にて展示見学頂きました


4,400
敷地境界線
6,800
道路
隣地
治田学童保育所
受水槽
消火栓用受水槽
ポンプ
機械室
河川
UP
EXP.J
対象建物
敷地境界線
40,400
河川
道路後退線
敷地境界線
5,500
道路
対象建物
6,150
23,000
3,400

4 年間防災訓練等事業計画

令和６年度防災訓練等事業計画書			
4 月	治田学区自治会会長会 及び防災士会治田支部との 治田学区地区防災計画の活動 打ち合わせ会議を持つ	11 月	「治田学区ふれあい広場」にて 防災に関係するブースを企画
5 月	治田学区 災害時、避難所開設について 「地区防災計画」の実行に対する 会議を行なう。	12 月	「年末夜警」各単位自治会
6 月	栗東市「防災の集い」 「消火栓点検」各単位自治会	1 月	
7 月	旧集落　大字　上鈎。 大字川辺。大字坊袋。 大字目川。大字岡 大字小柿　単位での交流企画	2 月	治田学区支部防災士会議を開催 ・一年間の反省を行う。 ・新年度の活動や企画の話し合い。
8 月	各単自治会「夏祭り」 防災を考慮した企画 （シェイクアウト訓練等） 要支援者・高齢者訪問	3 月	令和７年度の治田支部活動に関し 各単位自治会で 災害避難所開設時の運営委員 を４名選出する。
9 月	「防災訓練」各単位自治会 ・人命救出救助訓練 ・防災敷材の扱い実践 ・消火訓練	その他 大字　川辺（川辺＋川辺住宅） 大字　目川（目川＋目川住宅） 大字　小柿（新屋敷＋旭町＋小柿四区） 近隣地域の交流を深める。 氏神祭礼伝統行事を有効利用する。	
10 月	治田学区区民運動会で 防災に関係した競技を １種目企画する。		

【記入要領】

・各種防災訓練、防災資機材点検、防災マップ確認、地域防災計画見直しに係る実施等について記入をお願いします。

5 自治会別　住宅状況調査表

【令和５年度】

自治会名	住宅内容	軒数	戸数・人数
小柿四区自治会	非耐震	１５	
	耐震有	６０	
	共同住宅　非耐震	１	３戸
	耐震有	１８	１２０戸
	浸水　平屋建	１	２人
	共同住宅　１階住	１８	１０４人
岡自治会	非耐震	８３	
	耐震有	１５４	
	共同住宅　非耐震	２	１３戸
	耐震有	３０	３２０戸
	浸水　平屋建	２	３人
	共同住宅　１階住	１１８	２１５人
坊袋自治会	非耐震	４５	
	耐震有	２２０	
	共同住宅　非耐震	２	２０戸
	耐震有	１６	１５０戸
	浸水　平屋建	３	５人
	共同住宅１階住	５０	１００人
旭町自治会	非耐震	２９	
	耐震有	３８	
	共同住宅　非耐震	０	
	耐震有	１６	
	浸水　平屋建	６	
	共同住宅１階住	４	８人

【記入要領】

耐震有は、昭和５６年６月１２日（１９７８年）　宮城県沖地震以降の新耐震基準の建築物と以前に建築物でも耐震補強改築工事を行った建築物。

上記以外は、非耐震構造、「耐震無」としてご報告下さい。

５ 自治会別　住宅状況調表

【令和５年度】

自治会名	住宅内容	軒数	戸数・人数
新屋敷自治会	非耐震	０	
	耐震有	１４８	
	共同住宅　非耐震	１	１戸
	耐震有	１０	１１２戸
	浸水　平屋建	０	
	共同住宅　１階住	３６	
目川住宅自治会	非耐震	１４	
	耐震有	６８	
	共同住宅　非耐震	０	
	耐震有	０	
	浸水　平屋建	２	２戸
	共同住宅　１階住	０	
川辺住宅自治会	非耐震	５７	
	耐震有	１０	
	共同住宅　非耐震	０	
	耐震有	２	４戸
	浸水　平屋建	５	６人
	共同住宅１階建	０	
上鈎自治会	非耐震		
	耐震有		
	共同住宅　非耐震		
	耐震有		
	浸水　平屋建		
	共同住宅１階住		

令和５年１１月　各自治会別白紙住宅地図を基に住居の内容を集計依頼を行いました。

上鈎自治会・川辺自治会・目川自治会の３自治会は建築年の把握が困難です。
今後集計作業を行う予定です。

5 自治会別　住宅状況調査表

【令和５年度】

自治会名	住宅内容	軒数	戸数・人数
川辺宅自治会	非耐震		
	耐震有		
	共同住宅　　非耐震		
	耐震有		
	浸水　平屋建		
	共同住宅　　１階住		
目川自治会	非耐震		
	耐震有		
	共同住宅　　非耐震		
	耐震有		
	浸水　平屋建		
	共同住宅　　１階住		
治田学区合計	非耐震		
	耐震有		
	共同住宅　　非耐震		
	耐震有		
	浸水　平屋建		
	共同住宅１階住		